

## 第 6 回（平成 28 年度第 2 回）伊賀地域医療構想調整会議 概要

前回調整会議の概要及び三重県在宅医療推進懇話会の概要について

- ・ 意見なし。

地域医療構想中間案について

- ・ 上野総合市民病院は、平成 28 年 4 月から全ての病棟をオープンした。平成 37(2025)年の医療需要と必要病床数を算定するにあたり、平成 25(2013)年のデータを用いていることについては、現状とかなり乖離しているため、新しいデータで考えるべきである。
- ・ 他区域で療養病床入院患者数のうち、医療区分 1 の患者の 70% を在宅医療等へ移行することについてはどのような意見が出ているのか教えていただきたい。
- ・ 必要病床数については、人口減少により、不要となる病床が出てくる可能性はあると思うので、目安として徐々にやっていく程度であると思う。この会議では、在宅へ帰りやすい体制を構築する議論の方が大事であると思われる。
- ・ 伊賀区域の必要病床数については、在宅へ移行できる患者が少ないので、パターンの方で主張していくが、他の区域と兼ね合いがあるため、議長会議で決めたいと思うので、議長一任をお願いしたい。
- ・ 在宅医療フレームワークについては、質が評価に入っていない。開業医のところには患者が行き、納得をして家で看取ってもらうというのも立派な在宅医療である。
- ・ 在宅に帰る場合、医療・介護連携が重要であるので、連携や周知をはかっていくことが必要だと思う。
- ・ パブリックコメントは県のホームページだけでなく、市町ホームページ等にも掲載して周知をしっかりとっていただきたい。